

私の人生

動画リンク: <https://youtu.be/eIBYKsp5J9s>

今回は「私の人生」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字にはふりがながあります。
後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字にふりがなはありません。
学習にお役立てください。

■自己紹介

こんにちは。今日は、私のことをお話しします。私は32歳の女性で、名前は佐藤ゆかりです。出身は北海道の札幌市で、今は東京で働いています。私の仕事は会社員で、都内にある広告会社で働いています。仕事では、毎日いろいろな広告の企画を考えたり、お客さんと打ち合わせをしたりしています。

私の趣味は読書と料理です。特に、ミステリー小説を読むのが大好きで、週末は本屋さんに行って新しい本を探すのが楽しみです。料理は、自分でレシピを考えて、新しい料理に挑戦することが好きです。最近では、和食だけでなく、イタリア料理や中華料理にも挑戦しています。

性格は、明るくて前向きなほうだと思います。友達からは、何事にも挑戦する姿勢がいいねと言われることが多いです。でも、少しせっかちなので、ときどき急いで失敗してしまうこともあります。

これから私の人生について、少しずつお話ししていきます。どうぞ、楽しみにしていてくださいね。

■生まれた場所と私の家族の話

私は、北海道の札幌市というところで生まれました。札幌市は、北海道で一番大きな都市です。冬になるとたくさん雪が降り、スキーやスノーボードを楽しむ人たちがでにぎわいます。夏は涼しく、自然が豊かで、とても住みやすいところです。私の家は札幌市の中心から少し離れた静かな住宅街にあります。近くには公園や川があり、子供の頃はよくその公園で遊んだり、川で釣りをしたりして過ごしました。

私の家族は5人家族です。お父さん、お母さん、私、そして弟が2人います。お父さんは札幌市内の会社で働いていて、毎日朝早く出勤し、夜遅くに帰ってきます。お父さんは仕事がとても忙しいですが、週末には家族でドライブに行ったり、キャンプに行ったりして、私たちを楽しませてくれました。お母さんは専業主婦で、家で家事をしています。お母さんは料理がとても上手で、特に冬に作るお鍋が家族みんなのお気に入りです。

私には2人の弟がいます。1人は私より2歳年下で、もう1人は4歳年下です。弟たちはいつも元気で、家の中がとてもにぎやかでした。私たちはよく一緒に遊んでいましたが、ときどきケンカもしました。それでも、いつも仲直りして、また一緒に遊んでいました。

私の家族はとても仲が良く、お互いに助け合って暮らしていました。特に寒い冬の夜、みんなで暖かいリビングに集まって、お母さんの作ったおいしい料理を食べながら過ごす時間が、私にとって一番の思い出です。

■小学校時代の話

私は、札幌市の近くにある小学校に通っていました。その学校は家から歩いて10分くらいのところにあり、毎日元気に通っていました。学校にはたくさんの友達がいる、休み時間になるとみんなで校庭で遊んだり、教室でおしゃべりをしたりして過ごしました。

私が特に好きだった授業は図工と音楽でした。図工では、絵を描いたり、工作をしたりするのが楽しくて、家に帰ってからも続きをやるのがよくありました。音楽の時間には、みんなで歌を歌ったり、リコーダーを練習したりしました。学校の行事である運動会や学芸会もとても楽しみでした。運動会ではリレーの選手に選ばれるのが夢で、毎年一生懸命練習しました。

私の小学校時代で一番記憶に残っているのは、3年生の時にいった林間学校です。林間学校というのは、自然の中で泊まりがけで活動をする学校行事のことです。私たちは山の中にあるキャンプ場に行き、みんなでテントを張ったり、キャンプファイヤーをしたりしました。夜は星空の下で友達とおしゃべりをしながら、テントの中で寝るのがとても楽しかったです。

先生たちはとてもやさしくて、私たちが困ったときにはいつも助けてくれました。特に、担任の先生は私たち一人ひとりの話をしっかり聞いてくれて、何でも相談できる頼りになる存在でした。

このように、小学校時代は友達や先生との楽しい思い出がたくさんあります。毎日が新しい発見と挑戦でいっぱい、私にとってとても大切な時期でした。

■中学校時代の話

私が通っていた中学校は、小学校から少し離れた場所にありました。中学校に入ると、小学校の時とは違い、勉強の内容が少し難しくなりました。特に、数学と英語は新しいことをたくさん学ぶ科目で、初めはとまどうこともありましたが、先生や友達に助けをもらいながら少しずつ理解できるようになりました。

中学校では、新しい友達がたくさんできました。クラス替えがあり、初めて会う人たちと一緒に授業を受けることになりましたが、すぐに打ち解けて仲良くなりました。休み時間や放課後には、みんなでしゃべりをしたり、一緒に部活動に参加したりして、楽しい時間を過ごしました。

私は中学校でバスケットボール部に入りました。バスケットボールはとても体力がいるスポーツで、毎日練習がありましたが、それでもがんばりました。試合に出るために、チームメイトと一緒に練習を繰り返し、少しずつ上達していくのがとても嬉しかったです。特に、初めて試合で得点を決めたときの喜びは今でも忘れられません。

将来の夢についても、この時期に考え始めました。私が中学校の時に興味を持ったのは、絵を描くことやデザインの仕事でした。美術の授業で先生が褒めてくれたことがきっかけで、自分でも何かクリエイティブな仕事をしたいと思うようになりました。そのため、高校では美術部に入って、もっと絵を描くことに挑戦しようと考えていました。

中学校時代は、勉強や部活動を通じて自分の成長を感じることができた、大切な3年間でした。新しいことに挑戦する楽しさや、努力することの大切さを学んだこの時期は、私の人生においても重要な経験になりました。

■高校時代の話

私が通っていた高校は、札幌市内にある進学校でした。高校に入ると、中学校と比べて勉強の量が増え、授業内容も難しくなりました。特に、理科や数学の授業は理解するのに時間がかかり、毎日予習と復習を欠かさずに行うようになりました。それでも、友達と一緒にがんばりながら、少しずつ勉強に慣れていきました。

高校では、美術部に入りました。美術部というのは、絵を描いたり、彫刻を作ったりする部活動です。私は小さい頃から絵を描くのが好きで、部活動でもたくさんの作品を作りました。特に、文化祭で展示した自分の絵がたくさんの人に見てもらえたときは、とても嬉しかったです。また、美術部では同じ趣味を持つ友達と一緒に活動できるので、放課後の時間が毎日楽しかったです。

高校時代には将来のことを真剣に考えるようになりました。大学進学を目指していたため、進路についての相談を先生や家族にする機会が増えました。私はデザインやアートに興味があったので、美術系の大学に進みたいと考えるようになりました。そのために、勉強と部活動の両立をがんばり、試験に向けての準備を進めていました。

友達との思い出もたくさんあります。高校の修学旅行では、クラスのみなどと一緒に京都や奈良を訪れました。歴史的な建物や美しい庭園を見学しながら、日本の文化に触れることができ、とても良い経験になりました。また、放課後に友達と一緒に勉強したり、おしゃべりをしたりする時間も、今でも大切な思い出です。

高校時代は、自分の未来について深く考えるようになった大切な時期でした。勉強や部活動を通じて得た経験は、私の成長にとって欠かせないものとなりました。これからも、その時のがんばりを忘れずに、夢に向かって進んでいこうと思います。

■大学時代の話

私は高校を卒業した後、札幌市内にある美術大学に進学しました。この大学では、絵を描くことやデザインを学ぶことができ、私にとって理想的な環境でした。大学では、さまざまな授業があり、絵の技術だけでなく、デザインや彫刻、写真など、幅広いアートの世界に触れることができました。

私が特に好きだったのは、デザインの授業でした。デザインというのは、見た目の美しさだけでなく、使いやすさや機能を考えて物を作ることです。私はこの授業で、ポスターやパンフレットをデザインする課題に取り組みました。自分のアイデアを形にする楽しさを感じ、将来はデザイナーとして働きたいという気持ちが強くなりました。

大学では、サークル活動にも参加しました。私が入ったのは、写真サークルでした。写真サークルというのは、カメラを使って写真を撮ることを楽しむグループです。私たちは、週末に自然や街の風景を撮影しに行ったり、撮った写真をみんなで見せ合ったりしました。写真を通じて、新しい視点で物を見ることができるようになり、アートの幅が広がりました。

また、大学生活ではアルバイトもしていました。私は地元のカフェでウェイトレスとして働いていました。アルバイトを通じて、お客さんと接する楽しさや、お金を稼ぐことの大変さを学びました。忙しい時には疲れることもありましたが、アルバイト先の同僚と仲良くなり、楽しい時間を過ごすことができました。

大学時代は、アートやデザインの世界にどっぷりと浸かりながら、自分の未来について真剣に考えることができた時間でした。さまざまな経験を通じて、自分が本当にやりたいことを見つけ、それに向かって努力することの大切さを学びました。これからも、この時期に得た学びを活かして、夢に向かってがんばっていかうと思います。

■社会人になってからの話

大学を卒業した後、私は東京にある広告会社に就職しました。東京というのは、日本の首都であり、とても大きな都市です。新しい生活を始めることに少し不安もありましたが、同時にわくわくした気持ちもありました。私が働き始めた会社では、広告を作る仕事をしています。広告というのは、商品やサービスを多くの人に知ってもらうためのもので、テレビや雑誌、インターネットなどで見かけることができます。

最初のうちは、仕事に慣れるのに時間がかかりました。広告の企画を考えることや、クライアントというお客様と打ち合わせをすることは、大学で学んだこととは少し違い、実際にやってみると大変でした。それでも、先輩たちがやさしく教えてくれたおかげで、少しずつ自分の仕事に自信が持てるようになりました。

私が最初に担当した大きな仕事は、ある商品のテレビコマーシャルを企画することでした。チームのみんなでアイデアを出し合い、何度も話し合いをして、やっと完成させたコマーシャルが放送されたときは、本当に嬉しかったです。テレビで自分が関わった仕事を見ると、努力が報われたように感じました。

働き始めてからは、忙しい日々が続いていますが、それでもやりがいを感じています。毎日新しいことを学び、成長していると感じられるからです。ときどき、仕事が大変で疲れることもありますが、そんなときは友達と一緒に食事をしたり、映画を見たりしてリフレッシュするようにしています。

社会人になってからの経験を通じて、仕事を通じて多くの人と関わり、一緒に何かを作り上げる喜びを知りました。この先も、さらに自分のスキルを磨きながら、もっと多くの人に喜んでもらえる広告を作りたいと思っています。これからも、がんばっていきたいです。

■結婚

私は社会人になって数年後、会社の同僚だった人と結婚しました。結婚というのは、好きな人と一緒に暮らし、家族を作ることです。私たちは同じ会社で働いていて、仕事を通じて知り合いました。初めはお互いあまり話す機会がなかったのですが、プロジェクトで一緒に働くようになってから、少しずつ仲良くなりました。

彼とは趣味が似ていて、映画や音楽、旅行が好きです。休みの日には一緒に映画を見たり、音楽を聴いたりして過ごしました。また、週末には近くの公園に散歩に行ったり、少し遠くまでドライブに出かけたりもしました。そうした時間を一緒に過ごすうちに、自然とお互いを大切に思うようになりました。

結婚式は、私たちにとって特別な日でした。家族や友達を招いて、小さな式を挙げました。結婚式というのは、二人が夫婦になることをお祝いする儀式のことです。私たちの結婚式では、お互いに感謝の気持ちを伝え合い、これからも一緒にがんばっていかうと誓いました。その日は、私たちにとって一生忘れられない思い出となりました。

新しい生活が始まり、最初は慣れないことも多かったですが、少しずつ二人の生活リズムを作っていました。家事を分担したり、休みの日には一緒に料理をしたりすることで、ますますお互いのことを理解できるようになりました。結婚生活はときどき大変なこともあります、パートナーと協力し合いながら乗り越えていくことで、絆が深まっていくのだと感じています。

結婚は、二人で新しい人生を作り上げていくことです。私たちはこれからも、支え合いながら幸せな家庭を築いていきたいと思っています。そして、これからの未来に向けて、もっと素敵な思い出を作っていけたらいいなと思います。

■子供が産まれる

結婚してからしばらくして、私たちに子供が産まれました。子供が産まれるのは、家族が増えることで、とても大きな出来事です。私は妊娠をしたことで、お腹の中で赤ちゃんが育つ貴重な経験をしました。妊娠中は、体が変わっていくことに驚きや不安もありましたが、毎日少しずつお腹が大きくなり、赤ちゃんの存在を感じることで、楽しい気持ちが増していきました。

赤ちゃんが産まれた日、私たちはとても感動しました。小さな手や足を見て、「こんなに小さいのに、これから一緒にたくさんの時間を過ごしていくんだ」と思うと、不思議な気持ちでいっぱいになりました。

私たちは赤ちゃんに「さくら」という名前をつけました。さくらというのは、日本の春に咲く美しい桜の花にちなんでいます。桜は毎年春になると、たくさんの花を咲かせ、みんなに喜びを与えてくれます。私たちも、さくらが明るく元気に育ち、周りの人たちに笑顔を届けられるような子になってほしいという願いを込めて、この名前を選びました。

名前を考えると、夫と一緒にいろいろな候補を出しましたが、どれもピンとこなくて悩んでいました。そんなとき、私たちがいつも散歩していた公園で満開の桜を見て、「これだ！」と思いました。美しい桜の花を見ながら、二人で「さくら」という名前に決めた瞬間は、今でもよく覚えています。さくらが産まれた日も、ちょうど春の季節で、桜の花が咲き始めたころでした。それもこの名前に縁を感じた理由の一つです。

さくらが泣いたり、笑ったりするたびに、その一つ一つが新しい発見で、毎日が驚きと喜びに満ちています。

子育てを始めたばかりの頃は、何をどうしていいのかわからず、とまどうことも多かったです。特に、夜中にさくらが泣いて起きることが多く、眠れない日々が続きました。でも、夫と協力して、少しずつ慣れていきました。さくらが初めて寝返りをしたときはとても嬉しかったです。寝返りというのは、寝ている状態のとき、自分で体をひっくり返すことです。

さくらが初めて「ママ」と言ってくれた瞬間も、本当に嬉しくて、その日の疲れが吹き飛ばすような気持ちになりました。

家族の支えもとても大きかったです。おじいちゃんやおばあちゃんが遊びに来てくれたり、手助けをしてくれたりすることで、私たちは安心して子育てを続けることができました。家族みんなで赤ちゃんの成長を見守り、喜びを分かち合うことで、絆がさらに深まりました。

子育ては大変なこともありますが、それ以上に喜びや幸せを感じるものがたくさんあります。これからも、家族と一緒に笑顔で過ごし、子供の成長を見守りながら、素敵な思い出を作っていきたいと思っています。

■現在の私

今、私は東京で夫と娘のさくらと一緒に暮らしています。仕事と家庭を両立させながら、毎日を忙しく過ごしています。私の仕事は広告会社でのデザイナーというもので、商品やサービスを多くの人に知ってもらうための広告を作っています。仕事は大変ですが、やりがいがあり、自分のアイデアを形にできることが楽しいです。

さくらは今3歳になり、毎日元気いっぱい走り回っています。最近は言葉をたくさん覚えて、「ママ」「パパ」と呼んでくれるのがとても嬉しいです。その他にも「ママ、だっこ」や「パパ、あっち、でんしゃきた」など、さくらがしゃべるたびに夫と大喜びしています。

家では、夫と協力して子育てをしています。週末には家族で近くの公園に行ったり、一緒にお料理をしたりして過ごすのが楽しみです。

私たちの生活は忙しいですが、家族みんなが健康で幸せに過ごせることに感謝しています。これからも、さくらの成長を見守りながら、家族と一緒にたくさんの思い出を作っていきたいと思っています。

将来の目標は、仕事でさらにスキルを磨き、もっと多くの人に喜んでもらえる広告を作ることです。また、家族との時間も大切にしながら、毎日を大事に過ごしていきたいです。さくらが大きくなったら、一緒に旅行に行ったり、いろいろなことを教えてあげたりするのが今から楽しみです。

この先も、家族とともに笑顔で過ごせるよう、努力を続けていこうと思います。そして、さくらにも、困難に立ち向かう強さと、人に優しくする心を持って育ってほしいと願っています。

"私の人生"はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

